

国連ハビタット福岡本部協力委員会

国連ハビタット福岡本部協力委員会(約 40 の企業などからなる組織)は、同本部への活動に対する資金支援などを行っています。これまで日本ハビタット協会はオブザーバーとして総会に出席し、国連ハビタット福岡本部への資金支援に参加してきました。6 月 12 日の協力委員会総会で、日本ハビタット協会は協力委員会の会員となり、当協会の中村会長が副会長を務めることになりました。一層積極的に国連ハビタット福岡本部をサポートしていきます。

同委員会はネパール震災復興のための支援金の募集を決定し、日本ハビタット協会も直ちにこれに応えました。支援金は国連ハビタット福岡本部を通じて国連ハビタットのネパール事務所に送金され、復興に活用されます。

東京都が日本ハビタット協会の認定資格を承認

日本ハビタット協会は 2010 年に国税庁により「認定 NPO 法人」の資格を認められ、当協会への寄付は税金控除などの特典が受けられるようになっています。認定資格は 5 年間有効で、2015 年 6 月 30 日をもって満了します。法律改正により、認定の資格承認をする官庁が国税庁から東京都になったため、東京都に認定申請をし、6 月 1 日に無事に認定資格の承認を受けることができ、7 月 1 日に更新しました。今後も寄付をくださる方々の税金控除などが継続いたします。

内閣府によれば、NPO 法人の総数 49,970 のうち、認定 NPO 法人数は 789 に過ぎません(2015 年 2 月 28 日現在)。認定資格は信頼性の高さを示すといわれます。日本ハビタット協会は、皆様のご期待に応えられるよう、今後も一層の努力をいたしますので、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

成田国際空港第 3 ターミナルに募金箱設置

4 月にオープンした成田国際空港第 3 ターミナルの出発ロビーに新しく募金箱が設置されました。国際線の出国審査場を抜けた先の免税店エリアと搭乗口ロビーの間にあります。日本円だけでなく全ての国の通貨と紙幣を受け付けております。募金箱に寄せられた寄付は人々が安全で安心して暮らせるまちづくり事業に活用します。

事務所移転

福岡県はふくおか会館の老朽化が進んだため、土地を有効に活用する計画として長期借地契約による土地貸付を進めています。実施されると会館の建物が建て替えられることになり、日本ハビタット協会の事務所も今年度中に移転をしなければなりません。その時期と移転先については、決定次第皆様にお知らせいたします。

★ **ご協力いただきありがとうございます** ★ 2014年12月1日 ~ 2015年5月31日 (敬称略・順不同)

ご寄付

国際ソロブチミスト 熊本ーさくら・八女・北九州・北九州一南・沖縄・日田・長崎ガーランド、(有)岩時計店、ふくおか会館、福岡空港ビルディング(株)、熊本空港ビルディング(株)、(株)新橋スタンプ商会、成田国際空港(株)、関西国際空港(株)、東京国際空港ターミナル(株)、中部国際空港(株)、博多港開発・西部ガス共同事業体、長崎空港ビルディング(株)、岩隈久志、中井 禮子、(株)もち吉博多本店・太宰府店、International Night、永田 多恵子、塩澄 文子、菊池 コネ子、郷古 理加、建石 教子、原田 義信、今井 一彦、左々 和子、山際 則子、(株)出雲総業、小林 英俊、松井 昌子、すぎもと在宅医療クリニック、大塚 俊之、丹羽 浩康、長谷川 隆徳、長島 道子、樋口 謙一郎、平井 功、豊嶋 百合子、六波羅 昭、蘆野 進、新井 てつお、野田 泰子、川上 五郎、山口 実知子、吉井 由美、関口 芳央、宮口 則子、飯田 綾、おごおり国際交流協会、中川 雅文、ヘアークリエイション イチノセ、大橋書店、松花堂、家庭料理の店 季、篆遊会、大石 加奈子、(株)しげ吉、沖村 貴美子、中村 勇、田野井 弥生、住友商事(株)、福岡県東京事務所、矢澤 澄子、宮本 知枝、伊木 常昭

切手・書き損じハガキ等

槌田 美和子、全日本空輸(株)、成田国際空港(株)、住友商事(株)

ご協力いただいた団体

ニューサンノー、(株)新橋スタンプ商会、ソフトバンクモバイル、ハビタット福岡市民の会、地球環境基金、ちよだボランティアセンター、シトリックス・システムズ・ジャパン(株)、(有)マレイアンソニエイツ、岩手大学、シャンドウミュージエ、(社)日本フィランソロビー協会、(一財)ジャパンギビング、三井物産(株)、あおぞら銀行、(株)アイ・コミュニケーションズ、不二製油(株)、(株)フジサニーフーズ、藤崎百貨店、フアランドール(株)、kura-café、日本おもちゃ図書館財団、(株)ジェーシービー、ハビタットフレンズ東京・名古屋・仙台・九州・ユース・ハワイ

コインわけにご協力いただいた企業・学校

(株)ジェーシービー本社・大阪支社、シトリックス・システムズ・ジャパン(株)、日本メドトロニック(株)、(株)東芝、積水化学工業(株)群馬工場、積水ナノコートテクノロジー、全国労働者共済生活協同組合連合会、栗原市立若柳中学校、あわら市立金津中学校

発行：認定NPO法人日本ハビタット協会(発行責任 伊木 常昭／編集責任 山本 博子)

〒102-0083 東京都千代田区麹町 1-12 ふくおか会館 1 階 TEL：03-3512-0355／FAX：03-3512-0358
E-mail：info@habitat.or.jp／URL：http://www.habitat.or.jp

デザイン・イラスト：母袋秀典
2015年7月発行



ネパール大地震



1：倒壊した家屋
2：テント暮らしを余儀なくされる住民
3：必要とされるシェルター
4：住民によるシェルター建設

Photos by Lumanti

2015 年 4 月 25 日にネパールで発生した地震とその余震で、死者 8,100 人、全壊家屋 50 万戸、半壊家屋 27 万棟の被害が出ました。災害発生当初は被災者救出、負傷者の手当、食糧・医薬品やテントの配布などが支援の中心でした。その後のニーズの変化に合わせて支援するため、国連ハビタット福岡本部及びネパールの有力 NGO である Lumanti との協力体制を整えて事業を進めています。

今一番求められている支援のひとつがシェルターと呼ばれる仮の住居です。ネパールでは、公的機関による仮設住宅の建設は進んでいません。住民が自分たちで、あるいは、コミュニティの住民と協力して、シェルターをつくっています。

Lumanti は、ネパールの各地の女性組合と協力してシェルター建設を推進中です。雨季(モンスーンと言われる)は6月初旬から中旬に始まり、100 日以上も続きます。早急なシェルターが求められています。皆さまのご寄付をお待ちしています。

ネパール緊急支援募金

● 三井住友銀行 麹町支店
普通口座 9121975 特非)日本ハビタット協会

● 郵便振替 00150 - 3 - 568405
日本ハビタット協会・まちづくり基金口
※ 振込用紙に「ネパール募金」とご記入ください。

● クレジット・カード(VISA、Master Card)でも
ご寄付いただけます。
日本ハビタット協会のホームページより手続きをお願いします。
▶▶▶ www.habitat.or.jp

3万円で
シェルター1戸を
建てること
ができます。

おもちゃとラオスの子どもたち

マリ・クリスティーン

5 月 27 日、ラオスのルアンパバン県のパクカン小学校とシエングエン小学校で行われた Toy・ライブラリー・プロジェクトの贈呈式に参加しました。おもちゃは 3 月にすでに届けてあったので、私たちが到着した時子ども達は教室中におもちゃを広げ夢中になって遊んでいました。贈呈式は地域の人も大勢参加し賑やかに行われました。子どもたちは踊りなどを披露してくれ、大人たちは私たち一人ひとりに手織りの布を手渡して下さり、旅の安全と幸せを祈る儀式を執り行うなど心のこもった歓待を受けました。

UNDP が報告する人間開発指数ではラオスは 187 ヶ国中 139 位と、近隣のベトナムやカンボジアよりも低い国です。ルアンパバンはメコン川流域に栄えたランサン王国の古都で人口は 6 万人です。歴史的建造物と街並みが 1995 年に世界遺産に指定されています。フランス統治時代のコロニアル様式の建物とラオスの伝統的な建物が自然の中で共存する美しいまちです。一方で経済的には決して豊かではなく、おもちゃを自宅に持っている子どもはほとんどいません。おもちゃがあると子どもたちは学校に来ることが楽しくなり就学率、出席率ともに高くなったと校長先生から感謝の言葉を受けました。

静かに時が流れ、人々が相互扶助で温かく暮らしているこのまちの子どもたちが、おもちゃを通して体力、知力、豊かな創造力を養ってほしいと心から願いました。



子ども達と楽しい時間を過ごしました

第 3 回国連防災世界会議参加とシンポジウム主催

第3回国連防災世界会議が2015年3月14～18日に仙台で開催され、参加者6,500人（うち約4,000人が海外から）、一般向けのイベント・展示への来場者数は延べ15万人以上に達し、仙台で開催された国際会議として最大、最重要なものとなりました。

日本ハビタット協会は、国連防災世界会議に特別信任（Special Accreditation）を受けて、当協会役職員7名が国連会議に参加しました。政府等の代表は国連会議に参加できますが、民間団体は特別信任等を受けないと参加できません。

国連会議と並行して行われたパブリック・フォーラムにおいて、3月16日仙台市市民会館にてシンポジウムを開催し、土井正弘さん（石巻市立釜小学校校長）と永井史恵さん（ハビタットフレンズ仙台）に被災当時の状況や現在までの歩み等について話をうかがいました。40近いプログラムが同時に開催されていたにもかかわらず当協会のシンポジウムは満席でした。

会場の小学生や中学生からも積極的に意見があがり、年齢にかかわらず、さまざまな立場の意見を取り入れていくことが重要であるとあらためて考えさせられました。シンポジウムの終わりに、災害時には市民力、市民ネットワーク、女性のリーダーシップと関与等のいわゆる「人と人とのつながり」が重要な役割を果たすとまとめられました。



防災会議パブリック・フォーラムの様子



出店会場：
仙台 藤崎百貨店

桑パウダーを使ったチョコレート「KUWA CHOCO」

東日本大震災の復興支援事業「復興の桑」の一環として桑パウダーをチョコレートに練りこんだ「KUWA CHOCO」を作りました。桑の風味が生きた美味しい生チョコができ上がり、1月20日から3,000個をインターネット等で販売しました。1月29日～2月8日仙台的藤崎百貨店で開催された「地方新聞社おすすめスイーツ総選挙」に出展し、出展全35品目の中で堂々の第1位の栄誉を獲得しました。新聞、テレビ、ラジオなどでも紹介され、順調に販売を続け、バレンタインデーの2月14日に好評のうちに完売となりました。

「KUWA CHOCO」の製造、販売、パッケージデザイン等には多くの方々のご協力を賜り、心から感謝申し上げます。「KUWA CHOCO」の売上は「KUWA こども基金」として子ども達の自立支援に活用します。

子どもの自立支援事業

東日本大震災で被災した子どもたちの自立支援を目的に、様々な体験ができるように海外ホームステイを支援している「Support Our Kids」に、仙台在住で以前から交流のある中学3年生のSさんを推薦しました。3月19日～29日までアメリカのシアトル、ワウナーキー、サンフランシスコでホームステイを体験したSさんから感謝と共に下記の手紙が届きました。

「アメリカでの体験はとても素晴らしいものでした。ホストファミリーの方々は詰まってしまう私の英語を最後までしっかりと聞いてくれる優しい人達で、お別れの日には涙を流してしまいました。私は2週間の間に、色々なところでプレゼンテーションをしました。アメリカの方は東日本大震災のことをとても真剣に聴いてくださり、これを通して英語を話すということにやりがいを感じました。日本に帰ってきてても、アメリカの友達とのつながりを大事にしていきたいです。これから私自身が中心となって地域の復興をしていく番です。一緒にアメリカに行った仲間と自分達ができることを考えながら活動していきたいです。」

よこはま国際フォーラム 2015

2月7日 JICA 横浜で開催されたよこはま国際フォーラム2015にて、体験型ワークショップ「国際協力と相互理解—お互いの??を理解し合う—」を行いました。職員がラオスで遭遇した例をもとに、26人の参加者が村人と事業実施者役に分かれて、地域のニーズに適した事業の企画立案を体験しました。各テーブルで活発な議論が展開され、さまざまな事業案があがり、地域に根差した国際協力について考える機会となりました。

今後もこのようなワークショップを開催し、より多くの人に日本ハビタット協会が実施している地域主体のまちづくり事業を知ってもらおうと共に、市民の国際協力への関心を高めていきたいと思ひます。



笑顔あふれる学校生活 in ケニア



清潔なトイレが完成



各部屋でシャワーが浴びられます

清潔なトイレや手洗い場等がない不衛生な環境のために子ども達は病気になるリスクにさらされています。ムンザツィ学校の子ども達が安心して学校生活を送れるよう、男子トイレと水浴び場を建設しました。トイレは衛生環境を改善するだけでなく、子ども達の精神的負担も軽減し、出席率の向上にもつながります。トイレがないためにトイレに行くのを我慢したり隠れて用を足したりしなければなりません。トイレと水浴び場ができたおかげで、子ども達は安心して学校に通えるようになりました。

全校生徒が楽しい学校生活を送れるよう、女子トイレの建設を開始します。

この事業は地域住民が主体となり進んでいます。自分たちのコミュニティを良くしていこうとしている地域住民を応援してください。



子ども達の笑顔あふれる学校生活を応援してください！

- 郵便振替 00150 - 3 - 568405 日本ハビタット協会・まちづくり基金口
※ 振込用紙に「ケニア学校支援」とご記入ください。
- クレジット・カード（VISA、Master Card）でもご寄付いただけます。
日本ハビタット協会のホームページより手続きをお願いします。
▶▶▶ www.habitat.or.jp

水と暮らしを守る植林 in ラオス

2012年4月からルアンパバン県を中心に3年間で東京ドーム約23個分112.7haの植林を行いました。住民の生活に役立つ果樹等も交え植えることで、自然環境の回復だけでなく、人々の暮らしも守られた社会が築かれています。また、環境意識を高めるワークショップにより、学校で種からの苗木育成と植林活動が継続して行われるようになり、学校を中心に地域全体で環境保全の取り組みが進んでいます。

気候変動はラオスでも気温の上昇や雨量の低下等の影響を及ぼしています。人々の暮らしに必要な不可欠な水や様々な農作物を育む森林がその重要性を増し、地域住民による持続的な植林による環境保全が求められます。現地が主体となって事業を継続していける管理体制の構築と現地事業リーダーの育成を実施していきます。



住民による植林

人々の暮らしを守る植林事業にご協力をお願いします。

- みずほ銀行 麹町支店 普通口座 2108468 日本ハビタット協会
- 郵便振替 00150 - 3 - 568405 日本ハビタット協会・まちづくり基金口
※ 振込用紙に「ラオス環境保全」とご記入ください。
- ホームページからクレジットカード（VISA、Master Card）でもご寄付いただけます



学校での苗木育成活動

ハビタットクイズ 紙幣に関する問題だよ！

紙幣の中には物語の主人公がデザインされているものがあるよ。次の物語の中で、今までに使われたものはどれでしょう？

- Q1
- ① ニルスの不思議な旅
 - ② アルプスの少女ハイジ
 - ③ ピーターラビット
 - ④ 竹取物語
 - ⑤ 星の王子さま
 - ⑥ 源氏物語

- Q2
- アメリカ合衆国の100ドル紙幣になった政治家で、作家で、発明家である人物は誰でしょう？
- ① ワシントン
 - ② リンカーン
 - ③ クリントン
 - ④ フランクリン
 - ⑤ オバマ

